

皆で参加し、未来の子供達に残せるおもいやりの豊かなふるさとに!!

UD地域パートナーシップ連携フォーラム

※様々なキーワードが出てきました

★県南地区 2005. 11. 27

- 【I】基調講演 日大 若井正一 教授 **医療・福祉** **ADA法**
- 【II】企業UD事例発表 トーモク(株)代表取締役 齋藤敬氏
- 【III】パネルディスカッション

町屋再生 **間のデザイン** **人間・安全** **手書きの良さ** **お互い様**

★県北地区 2005. 12. 3

- 【I】基調講演 日大 松井壽則 助教授 **モジマーク** **医療・高齢**
- 【II】企業UD事例発表
北福島医療センター 理学療法士 遠藤浩一氏
ふくしま家づくりネットワーク 一級建築士 富樫龍男氏
- 【III】パネルディスカッション

自立型連携 **学習**

★県中地区 2005. 12. 4

- 【I】基調講演 福大 鈴木典夫 助教授
- 【II】企業UD事例発表(株)コスモテック 代表取締役 谷島昇氏
- 【III】パネルディスカッション

ものづくり **環境・安全** **マネジメント** **自分で考える** **UD研究会** **公平な利用** **教育のUD** **情報の公開** **生き物** **共感共有**



ふくしま家づくりネットワーク

富樫龍男



UDの連携からの新たな展開<郡山市安積第一小学校の例> UDフェア→パートナー養成講座→うつくしま基金プロジェクト利用の総合学習

(UDフェア参加がきっかけでパートナー養成講座へ教員の参加があり、生徒の総合学習へとつながり、うつくしま基金プロジェクトで作成した子供向けUDツールが活用されました。)

■教育では小中学校で図工・国語・社会でユニバーサルデザインが教科書にのり取組が始まりました。今回、郡山市安積第一小学校の先生方が学習の一環として、UDフェアや県主催のパートナー養成講座に参加され積極的に研修されました。【6学年-4クラス125名】

総合学習への協力依頼が当NPOへあり、昨年から3回程の打合せとレクチャーを経て実施となりました。そこでうつくしま基金で制作したプログラム・器具・UD発見ノートを使用しました。事前にUD発見ノートを生徒に渡し、街中ウォッチングなどで書き込みしてもらいました。1月20日には自動販売機のデザインワークショップをして、発表し合い理解を深めました。

現在、ふりかえりと発見ノートでの学習が行われているようですが今後の教育に有効な成果が期待されるようです



事務局より

本部事務所内にUD情報コーナー設置しました。お気軽に入らせて、ゆっくりご覧下さいませ。連絡先裏面へ

UD先進国視察『アメリカ』報告 概要 (次回よりシリーズで詳細報告します)

■ NPO法人 ふくしまユニバーサルデザイン
理事長 佐々木善壽

福島県、「うつくしま県民の翼」平成17年秋
ユニバーサルデザイン研修実践者コース

「視察趣旨」

アメリカUD運動の発展段階で活躍したグループ

(個人・団体)や組織(第三セクター含む)の活動

実態を調査検証する。特にその中心的役割を担った人・組織と施設をインタビュー中心に視察検証を行う。

UD運動に企業や行政・研究機関がどう係わり、果たした役割を探り、民間と行政との連携的役割と効率的活動内容や地域運動としてのNPOの係わりを問い、今後のUD運動展開と中心的役割を担う機関(UDセンター・組織)実現に活かしたい。

●主な視察地

- ①ボストン <アダプティブエンバイロメント・ ウォーターフロント他>
- ②ノースカロライナ <ザセンターフォーユニバーサルデザイン* UD住宅>
- ③ワシントン <スミソニアン・アメリカンミュージアム/インディアンミュージアム>
- ④ニューヨーク <ライトハウス*クーパーヒューイット国立デザイン美術館>
<コロンビア大学建築学部*NYメイヤーズオフィス>



ユニバーサルデザイン情報コーナー

平成17年8月に当NPO事務局の郡山市駅前大町プロワン事務所内2階にユニバーサルデザイン情報コーナーが開設されました。

■UDに関する情報の案内及び世界のUD・UD製品紹介・UD関連企業紹介・情報ペーパーなど展示しています。

また、UD先進地視察「アメリカ」の資料も準備中。

随時、展示品追加予定ですのでご期待ください。

なお、当NPOのホームページもリニューアル予定。

みらい工房にも案内があります



ユニバーサルデザインの本質を考える 事務局より

現代社会に於いて、様々な言葉が行き交います。その中で『ユニバーサルデザイン』と言う言葉があります。今まで、その言葉に行き着くまでに様々な言葉が行き交いました。

UDは言葉が先行し、なにか特別な事の様に思われがちですがそうではないと思います。社会には様々な人々がいて、様々な環境があってそれも常に変化しています。

UDを考えると、結果としてのものに目が行きがちですがそれまでのプロセスが重要とも考えられます。つまり、人・環境・ものが柔軟により深い関係性を保ち続けられる事が求められると思います。

専門家だけが関わるのではなく、ごくごく普通に誰でもが「ぶらっと工房に入る」ような「デザイン作業ができる現場」を多様に創り出す事が近道と思われそうですが如何でしょうか？

次回は12月に市民参加の先進地宮城県の「みやぎNPOプラザ」をご紹介します。

会報の感想、UDに関してご意見をお寄せください。

また皆さんの身近でUDの活動をしている個人・団体をお知らせください。

UDの輪を広げましょう。」

下記へご連絡くださいませ。

「お寄せ頂いた個人情報」は当団体の個人情報保護指針に基づき、厳重に管理いたします。

■お問い合わせ先：NPOふくしまユニバーサルデザイン

〒963-8001 福島県郡山市大町1-3-13 Mail: fudml@f-ud.jp

TEL: 024-938-6102 FAX: 024-927-0016